

どなたでも聴講できます。本学学生諸君、教職員だけでなく、広く日本美術に興味のある方々、もっと日本美術に親しみたいと思っている方々のご参加をお待ちします。
申込不要。無料。

(卒業制作展関連事業)

造形学部学内学会講演会+最終講義

一歩近づく 日本美術史



渡辺華山『秘められた海防思想』ぺりかん社 1994

日本美術史と私—学ぶこと、伝えること〈日比野 秀男 教授 最終講義〉

本年度で本学造形学部の日比野秀男教授が退職します。日比野教授は日本美術史を専門とし、『渡辺華山 秘められた海防思想』(ぺりかん社、1994)等の著書があります。また、美術館学芸員として静岡県立美術館、常葉美術館の企画・運営の中心になってきました。本学では造形学部長を6年間にわたって務め、本学部の発展に尽力されました。この講演では大学で学んだことを如何にして継続し、伝える仕事をするかのヒントをお話します。

「アート・アーカイブ探求」を通しての日本美術史〈日比野 秀男 教授+影山 幸一 先生〉

進行: 土屋 和男 (造形学部准教授)

日比野教授の講義のなかで触れられる、日本美術史上の作品や、美術館学芸員の仕事の話を受け、「アート・アーカイブ探求—絵画の見方」(Webマガジン「artscape」連載)において、日本の絵画のデジタルアーカイブを制作、執筆している影山幸一先生から、日本美術への関心、デジタルアーカイブ作成の意義等について、事例を示しつつ、お話いただきます。

普段目に触れることが少ない美術作品でも、デジタルアーカイブによって、いつでも、どこでも、作品と他の作品を比較するなど、作品を詳しく見るできるようになります。また美術館では見ることができないほど「近寄って」ディテールがわかり、広く深く「探求して」見ることが可能になります。それは、美術館で本物の作品を鑑賞したとき、作品の 아우ラ を強く実感する本物への理解力を補完する関係であり、美術作品に「一歩近づく」体験となるでしょう。

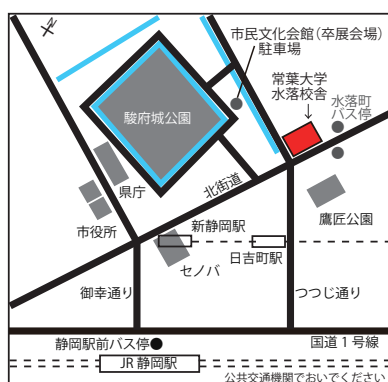


日比野 秀男 (ひびの ひでお) プロフィール

1947年静岡県島田市生まれ。慶応大学大学院修了。文学博士。静岡県教育委員会、静岡県立美術館を経て、常葉学園短期大学に着任。主たる研究分野は渡辺華山、田能村竹田など江戸時代の文人画。静岡県内の文化財調査、保護、顕彰活動にも当たる。大学では日本美術史、博物館学関係の授業を担当し、大学運営では短期大学美術・デザイン科長、造形学部長、点検評価委員長等を歴任。1998年常葉美術館長。2002年常葉学園大学教授。2006年同造形学部長。2013年常葉大学特任教授。

影山 幸一 (かげやま こういち) プロフィール

1961年東京生まれ。アートプランナー、デジタルアーカイブ観測者。デジタルアーカイブ史、アート・アーカイブを基軸に執筆、制作。主な仕事として、Web監修/執筆=美術系Webマガジン「artscape」(DNP, 2002~)、CG展企画=「3D BRAIN CIRCUS」(横浜ランドマークタワーギャラリー, 1994)、写真展企画制作=「地平線発——21世紀の旅人たちへ」(O美術館, 1997)、デジタルアーカイブ普及調査=「1999年デジタルアーカイブ・アンケート調査[美術館・博物館]」(個人, 1999)、編集総括=「デジタルアーカイブ白書」(JDAA, 2005)など。



常葉大学静岡キャンパス水落校舎: 静岡県静岡市葵区水落町1-30

〈交通アクセス〉JR「静岡駅」より徒歩15分/静岡鉄道「日吉町駅」より徒歩5分/静岡鉄道「新静岡駅」より徒歩10分

◆ 講演会に関する問い合わせ: 常葉大学造形学部造形準備室 〈TEL: 054-261-1460〉